

営農ウィークリーNEWS

乙訓都市農業振興協議会主催

乙訓農業講演会が開催されました

3月13日(木)、乙訓都市農業振興協議会主催による『令和6年度乙訓農業講演会』がJA京都中央本店にて、開催されました。乙訓都市農業振興協議会は、長岡京市、向日市、大山崎町、京都乙訓農業改良普及センター、JA京都中央で構成されており、当日は各地域の生産者や関係者37名の参加がありました。

当日は、特別講演として、京農業大学校名誉教授 後藤逸男氏による、『土の健康と土壌病害の発生抑制～土の免疫力「土力」を減らさないための健康な土づくり～』と題して講演がありました。

近年の病害虫発生に関する情報提供では、昨年京都府下で発生し京たけのこ栽培圃場に大きな影響を及ぼしたシナチクノメイガの情報や、全国的に問題となっている水稲害虫イネカメムシなどの情報、対策が報告されました。



講演される後藤逸男氏



イネカメムシ

本州、四国、九州、南西諸島など分布するイネ科植物の害虫。当JA管内では、2020年より、長岡京市、京都市西京区地域で、数頭の発生を確認しており、早生品種の

出穂が早い圃場に集中して発生しています。

斑点米を発生させるだけでなく、出穂期に籾の基部や茎の加害により不稔を生じさせ減収となる恐れがあることが知られています。



被害を受けた京たけのこ栽培圃場

シナチクノメイガ

中国からの外来種。昨年10月にシナチクノメイガと同定し、特殊報が発表されました。

主に食害する作物は、竹の葉で、幼虫が葉を加害し、加害された葉は、茶色く変色します。

多発すると、緑の葉がなくなります。

現在、京たけのこに対する被害は確認されておらず、今後も各関係機関によって、継続的に調査が進められます。

—TAC information—



「京たけのこ」

KBS 京都テレビ「あぐり京都」

大原野支店の西田誠さんが出演されます

3月14日、KBS 京都テレビ「あぐり京都」の取材があり、大原野支店管内の西田誠さんが取材を受けられました。同支店管内は有数の「京たけのこ」の産地で知られており、3月頃から多くの「京たけのこ」が出荷されます。今回の取材のオンエアは下記のとおりです。

*放送日時：3月23日(日) 13時30分～

*再放送生：3月24日(月) 9時00分～

♪ぜひご覧ください♪



京おくら生産者大募集中!!!



「京おくら」の生産者を



大募集 しています!

ぜひ、一緒に「京おくら」を盛り上げましょう!



JAでは、京おくら生産者を大募集しています!
 オクラは、栽培が比較的容易で、初期投資も少
 なく栽培初心者でも、取り組みやすい品目です。
 栽培面積は2a程度でも十分出荷できます!
 ぜひ、一緒に京おくらを盛り上げましょう!
 興味がある方は、各経済センターまで! お問
 い合わせください!

販売実績

京おくら経営試算表(2021年事例)

年	出荷量	金額	単価	前年比		
				出荷量	金額	単価
2020年	2,020	2,716,005	1,345			
2021年	6,230	5,940,122	954	308%	219%	71%
2022年	9,380	9,201,040	981	151%	155%	103%
2023年	13,482	14,696,005	1,090	144%	160%	111%

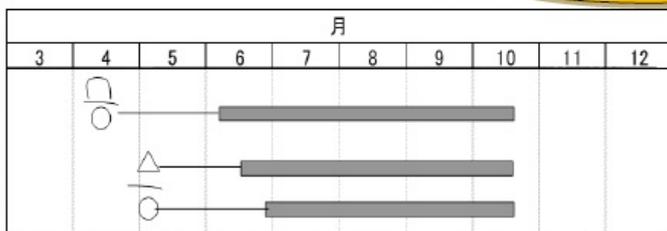
単位: 出荷量 (kg)、金額 (円・税別)、単価 (kg/円・税別)

①経営面積	3アール
②労働力	家族労力2人(内1人は、主に出荷調製作業)
③栽培体系	播種期5月上旬、収穫期間7~10月
④経営収支	【備考】
(1)粗収入	552,116 円 販売数: 7,876袋、販売単価: 68円
(2)経営費	217,052 円 種苗費20,700円、肥料費16,515円、農業費4,422円、 材料費等94,285円、荷造包装費等81,130円(減価償却費除く)
(3)所得合計	335,064 円
(4)所得率	60.7 %

※経営試算表は、京都乙訓農業改良普及センター作成

栽培暦

初心者でも簡単に栽培できます!!!



○: 播種 △: 定植 ■: 収穫 ○: トンネル —: ベタがけ

- ・トンネルは、穴あきなどが省力的かつ生育良好
- ・育苗は、定植の25日程度前に、ハウス内で、50穴セルトシヤやポリポットに3~4粒播種する。

土づくりと施肥(1a当り)

- (1) 土作り
全面にJA活線200kg(14袋)、セルカ10~20kg(pH6.5目標)
- (2) 施肥(基肥)
全面に、「ネーとエース」(肥効調節型肥料)8~10kg(N15~18kg/10a)
- (3) 施肥(追肥)
月に1~2回程 「化成 17-0-17」を通路に3kg/a(N5kg/10a)

マルチ、播種間隔

基肥施肥後、黒マルチを行い、高畦の場合は150cm幅、低めの畦の場合は135cm幅のものを用いる。通路は60cm以上とする。2条、株間30cm、1穴4~5粒播種。
 (注) マルチは施肥後、雨が降り耕うんでできる程度の水分状態(にぎってヒビが入る)になった時に行うのが理想的。

※栽培を希望される場合は、お気軽に各地域の経済部エリア担当者や営農販売課までお問い合わせください。

◆連絡先(電話番号): 北部経済センター ・075-711-3051
 西南部経済センター ・075-932-0003

